

粉碎した茶の歴史（日本）

時代	茶の種類	茶の栽培	茶の乾燥	茶の粉碎	茶の事柄
8世紀	餅茶（団茶）	露天栽培（山・日陰の茶）		茶 碾	← 遣唐使により茶が伝わる
9世紀					← 永忠、嵯峨天皇に茶を呈する
10世紀					
11世紀					
12世紀	散茶（葉茶）				← 栄西、喫茶養生記を記す
13世紀					
14世紀					
15世紀	室町時代		焙 炉	茶 臼 （手挽き）	← 梶尾茶（金沢文庫古文書）
16世紀					← 闘茶が盛んになる
17世紀					← 宇治茶（尺素往来）
18世紀	江戸時代	覆い下栽培	碓茶炉	電動茶臼	← 覆い下茶園
19世紀					← 大名の茶（信長・秀吉）
20世紀					← 武士の茶（古田織部）
現代	碾茶		碓茶炉	電動茶臼	抹茶は、近代以降、碓茶炉の発明で緑色が濃くなり、茶臼の電動・大型化で、より微細

抹茶は、近代以降、碾茶炉の発明で緑色が濃くなり、茶臼の電動・大型化で、より微細になり、高品質になった。